

事務事業分析シート（平成29年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-01-18	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	管理費（無人ひろば館）	部課名	区民生活部区民課	課長名	秦野	担当者名	上岡 内線 2513
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（29年度）	01-01-02	管理費（無人ひろば館）					
	01-03-03	管理費（無人ひろば館）					
事務事業の種類	新規事業（29年度 28年度）		建設事業		それ以外の継続事業		
開始年度	昭和	平成	元年度	根拠	荒川区区民ひろば館条例・同施行規則		
終期設定	有 無		年度	法令等			
実施基準	法令基準内		都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	文化創造都市					
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成				
	施策	02	地域文化とコミュニティの拠点づくり				
目的	地域住民の相互交流を深め、自主的な活動を進めるための場の提供を行う場として、ひろば館を維持管理するために清掃委託や各種設備保守委託等を行う。						
対象者等	ひろば館利用者						
内容	<対象施設> (1)旧区民事務所 南千住区民事務所西部、東尾久 (2)高齢者事業館 宮の前 <事業内容> (1)消耗品購入及び物品修繕に要する費用の支出 (2)光熱水費の支払 (3)手数料（ゴミ処理券、カーテン等洗濯、廃棄処理）の支払 (4)各種委託料（清掃委託・消防設備等保守委託）の支出						
経過	・南千住区民事務所西部ひろば館（旧第二出張所） 昭和42年3月竣工 362㎡ 鉄筋コンクリート造3階建 ・東尾久ひろば館（旧第六出張所） 昭和46年3月竣工 335㎡ 鉄筋コンクリート造4階建 ・宮の前ひろば館 昭和44年3月竣工 185㎡ 鉄筋コンクリート造4階建の1.2階部分 （平成24年4月から無人化、平成29年4月に2階部分を支援センターアゼリアの占有とし面積減） 平成29年度に組織改正に伴い「管理運営費（ひろば館）」から無人ひろば館事業を独立						
必要性	ふれあい館整備が進んでいない地域においては必要なコミュニティ施設である。						
実施方法	（1直営）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 日常管理は区民事務所で実施						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算額								6,255
決算額（29年度は見込み）								6,255
実績の推移	事項名（29年度は見込み）	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	旧区民事務所の無人ひろば館数	2	2	2	2	2	2	2
	旧高齢者事業館の無人ひろば館数	-	1	1	1	1	1	1

予算・決算の内訳								
平成27年度（決算）			平成28年度（決算）			平成29年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
						需用費	光熱水費	1,953
						需用費	消耗品、物品修繕費	153
						需要費	家屋等修繕費	860
						手数料	洗濯手数料、ゴミ処理券	102
						委託料	清掃委託、法定点検等	3,086
						使用料等	AEDリース料	101

	勘定科目			勘定科目	勘定科目		
	27年度	28年度	差額		27年度	28年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費		1,381	行政収入	地方税		0
	物件費		0		国庫支出金		0
	維持補修費		0		都支出金		0
	扶助費		0		分担金及び負担金		0
	補助費等		0		使用料及び手数料		0
	減価償却費		0		その他		0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額		0		行政収入合計(a)		0
	賞与・退職給与引当金繰入額		133		行政収支差額(a)-(b)=(c)		1,514
	その他行政費用		0		金融収支差額(d)		0
	行政費用合計(b)		1,514		通常収支差額(c)+(d)=(e)		1,514
特別費用(g)		0	特別収入(f)		0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	当期収支差額(e)+(h)		1,514		
備考							

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		26年度	27年度	28年度	29年度見込み	目標値(38年度)	
標	施設の稼働率(%)	19.7	20.6	20.4	20.1	20.0	
	1㎡あたりの修繕費(円)	477	119	1231	975	649	家屋等修繕費(緊急修繕費除く) /延床面積

問題点・課題	施設・設備の老朽化により、今後、修繕件数の増加が見込まれ、修繕経費の増加が課題である。修繕費用が増加していることや付帯設備の不備などから利用者の期待に応じられないことがある。
他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区) 他区においても、施設の管理運営に必要な経費として計上している。

問題点・課題の改善策			
	平成28年度に取り組む具体的な改善内容	平成28年度に実施した改善内容および評価	平成29年度以降に取り組む具体的な改善内容
	施設の維持管理を適正に行い、緊急性を判断して修繕を適正に行い、利用者の使用に支障が生じないように施設の維持管理を行う。	定期的に点検を実施し、適切な設備の維持・管理を行った。	利用者の要望に沿ったひろば館運営が行えるよう施設管理や設備の改善を実施する。
	施設の利用状況を把握し、ふれあい館の整備計画を踏まえ、今後のひろば館の用途を検討する。	ふれあい館用地の確保に向けて情報提供を呼びかけるとともに、貸室の利用状況等の詳細把握に努めた。	ふれあい館の整備状況を踏まえ、今後のひろば館の運用について検討する。
	中長期改修実施計画の第1期1年目優先順位評価対象施設であるひろば館について改修が必要である。	南千住区民事務所西部ひろば館の外壁屋上防水工事を実施した。	中長期改修実施計画対象施設であるひろば館の改修を進めるとともに、緊急性を判断して修繕を適正に行っていく。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
継続	継続	区民の相互交流、自主的な活動を進める場として、必要な維持管理を行い、効率的な運営を図る。

況議(要質問状)	平成27年度決特 無人館(ひろば館)の数、管理状況等について
----------	--------------------------------

事務事業分析シート（平成29年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-03-01	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	管理運営費（ひろば館）	部課名	区民生活部区民施設課	課長名	今井	担当者名	中村
				内線	2531		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（29年度）	01-01-01	管理運営費（ひろば館）					
	01-03-02	営繕費（ひろば館）					
事務事業の種類	新規事業（29年度）	28年度	建設事業	それ以外の継続事業			
開始年度	昭和	平成	元年度	根拠	荒川区区民ひろば館条例・同施行規則		
終期設定	有	無	年度	法令等			
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画	
行政評価事業体系	分野	文化創造都市					
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成				
	施策	02	地域文化とコミュニティの拠点づくり				
目的	地域住民の相互交流を深め、自主的な活動を進めるための場の提供を行うとともに、高齢者の増進や文化振興を図る場として、ひろば館を維持管理するために清掃委託や各種設備保守委託等を行う。						
対象者等	ひろば館利用者						
内容	<対象施設> 8館（直営3館・委託5館） (1)高齢者事業館 [直営]荒川六丁目、東尾久小沼 [委託]三河島、町屋二丁目、東尾久三丁目、西尾久みどり、諏訪台 (2)旧社会教育事業館 [直営]日暮里 <事業内容> (1)日暮里ひろば館の非常勤職員（ひろば館嘱託員）報酬・社会保険料、臨時職員賃金の支出 (2)消耗品購入及び物品修繕に要する費用の支出 (3)光熱水費、通信運搬費（電話料、NHK受信料、CATV視聴料）支払 (4)手数料（ゴミ処理券、ピアノ調律、カーテン等洗濯、樹木剪定）支払 (5)各種委託料（清掃委託・消防設備等保守委託）、コピー機賃借料の支出						
経過	昭和39年1月 日暮里青年館設置（後に日暮里社会教育館 日暮里ひろば館） 昭和47年4月 尾久青年館設置（後に尾久社会教育館 尾久ひろば館） 平成元年4月「ひろば館構想」実施 平成16年7月 ひろば館貸室の有料化 9月 上尾久ひろば館・町屋三丁目ひろば館が閉館 平成19年4月 西日暮里ひろば館（20年3月閉館）、尾久ひろば館（24年3月閉館）が子育て支援部に移管 平成22年3月 南千住五丁目ひろば館が閉館 平成23年4月 石浜ひろば館が南千住区民事務所東部ひろば館に移転統合 平成24年3月 瑞光ひろば館・地藏堀ひろば館・小台橋ひろば館閉館 4月 宮の前ひろば館無人化 平成25年3月 南千住区民事務所東部・石浜ひろば館（旧土地所有者に跡地売却）、東日暮里二丁目ひろば館（公募にて跡地売却）、東日暮里三丁目ひろば館閉館 平成29年度から南千住区民事務所西部・東尾久・宮の前ひろば館を「管理費（無人ひろば館）」に分割し、「営繕費（ひろば館）」を統合。						
必要性	ふれあい館整備が進んでいない地域においては必要なコミュニティ施設である。						
実施方法	（ 2一部委託 ） （ 直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員 ）						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算額					35,542	35,501	36,199	28,745
決算額（29年度は見込み）					31,452	32,783	34,402	28,745
実績の推移	事項名（29年度は見込み）	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	旧区民事務所ひろば館数(3号事業、直営)	1	1	-	-	-	-	-
	高齢者事業館ひろば館数(直営)	8	5	3	3	3	2	2
	高齢者事業館ひろば館数(委託)	4	4	4	4	4	5	5
	旧社会教育事業館のひろば館数(直営)	2	2	1	1	1	1	1

予算・決算の内訳								
平成27年度（決算）			平成28年度（決算）			平成29年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報酬	ひろば館嘱託員報酬	9,703	報酬	ひろば館嘱託員報酬	9,972	報酬	ひろば館嘱託員報酬	10,013
共済費	ひろば館嘱託員社会保険料	1,451	共済費	ひろば館嘱託員社会保険料	1,491	共済費	ひろば館嘱託員社会保険料	1,502
賃金	窓口事務補助臨時職員	2,753	賃金	窓口事務補助臨時職員	2,791	賃金	窓口事務補助臨時職員	3,411
需用費	光熱水費、消耗品、修繕費	12,520	需用費	光熱水費、消耗品、修繕等	12,444	需用費	光熱水費、消耗品、修繕等	9,873
役務費	樹木選定等	729	役務費	樹木剪定等	860	役務費	樹木剪定等	854
委託料	保守点検、清掃等	4,956	委託料	保守点検、清掃等	6,271	委託料	保守点検、清掃等	2,328
使用料等	コピー機賃借、備品購入	671	使用料等	コピー機賃借、備品購入等	573	使用料等	コピー機賃借、備品購入等	764

行政コスト計算書	勘定科目			勘定科目	勘定科目		
	27年度	28年度	差額		27年度	28年度	差額
行政費用	給与関係費		21,025	行政収入	地方税		0
	物件費		19,451		国庫支出金		0
	維持補修費		3,486		都支出金		0
	扶助費		0		分担金及び負担金		0
	補助費等		3		使用料及び手数料		3,840
	減価償却費		290		その他		140
	不納欠損・貸倒引当金繰入額		0		行政収入合計(a)		3,980
	賞与・退職給与引当金繰入額		2,022		行政収支差額(a)-(b)=(c)		42,297
	その他行政費用		0		金融収支差額(d)		0
	行政費用合計(b)		46,277		通常収支差額(c)+(d)=(e)		42,297
特別費用(g)		0	特別収入(f)		0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	当期収支差額(e)+(h)		42,297		

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		26年度	27年度	28年度	29年度見込み	目標値(38年度)	
標	施設の稼働率(%)	49.5	51.7	49.9	50.4	50.8	
	修繕件数(件)	20	30	31	27	30	
	1㎡あたりの修繕費(円)	690	851	951	974	899	家屋等修繕費(緊急修繕費除く)/延床面積

問題点・課題	施設・設備の老朽化により、今後、修繕件数の増加が見込まれ、修繕経費の増加が課題である。修繕費用が増加していることや付帯設備の不備などから利用者の期待に応じられないことがある。中長期改修実施計画の第2期優先順位評価対象施設である東尾久三丁目・宮の前・西尾久みどりひろば館の改修のほか、多くのひろば館において老朽化による施設の維持が課題である。各々の館の利用ニーズに対応する施設・設備が必要である。
他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区) 他区においても、施設の管理畝委に必要な経費として計上している。

問題点・課題の改善策			
	平成28年度に取り組む具体的な改善内容	平成28年度に実施した改善内容および評価	平成29年度以降に取り組む具体的な改善内容
	施設の維持管理を適正に行い、緊急性を判断して修繕を適正に行い、利用者の使用に支障が生じないように施設の維持管理を行う。	定期的に点検を実施し、適切な設備の維持・管理を行った。	サービス水準を維持し、利用者の要望に沿ったひろば館運営が行えるよう施設管理や設備の改善を実施する。
	施設の利用状況を把握し、ふれあい館の整備計画を踏まえ、今後のひろば館の用途を検討する。	ふれあい館用地の確保に向けて情報提供呼びかけるとともに、貸室の利用状況等の詳細把握に努めた。	ふれあい館の整備状況を踏まえ、今後のひろば館の運用について検討する。
	中長期改修実施計画の第1期1年目優先順位評価対象施設であるひろば館について改修が必要である。	日暮里ひろば館の外壁屋上防水工事を実施した。将来的なふれあい館への移行を見据えながらひろば館の補修等を行った。	中長期改修実施対象施設であるひろば館の改修を進めるとともに、緊急性を判断して修繕を適正に行っていく。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
継続	継続	区民の相互交流、自主的な活動を進める場として、必要な維持管理を行い、効率的な運営を図る。

議(要旨)問状	28年度予特 ひろば館のトイレ整備状況について
---------	-------------------------

	勘定科目			勘定科目	勘定科目		
	27年度	28年度	差額		27年度	28年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費		1,895	行政収入	地方税		0
	物件費		0		国庫支出金		0
	維持補修費		15,882		都支出金		65
	扶助費		0		分担金及び負担金		0
	補助費等		0		使用料及び手数料		0
	減価償却費		0		その他		0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額		0		行政収入合計(a)		65
	賞与・退職給与引当金繰入額		182		行政収支差額(a)-(b)=(c)		17,894
	その他行政費用		0		金融収支差額(d)		0
	行政費用合計(b)		17,959		通常収支差額(c)+(d)=(e)		17,894
特別費用(g)		0	特別収入(f)		0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	当期収支差額(e)+(h)		17,894		
備考							

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		26年度	27年度	28年度	29年度見込み	目標値(38年度)	
標	緊急修繕件数	41	27	66	42	46	

問題点・課題	施設・設備の老朽化が進む中、緊急対応しなければならない工事が増加しており、大規模改修等の実施も視野に入れ、検討していく必要がある。 大規模改修には費用もかかることから、ふれあい館等の施設整備を見据えて修繕計画を立てる必要がある。
他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区) 他区においても、施設の維持に必要な修繕経費として計上している。

問題点・課題の改善策			
	平成28年度に取り組む具体的な改善内容	平成28年度に実施した改善内容および評価	平成29年度以降に取り組む具体的な改善内容
	建物や設備の点検を適切に実施し、計画的に修繕を行い、緊急工事を減らすように努める。	利用者が快適に利用できる施設となるように、要望を汲みいれた修繕・工事の実施に努めた。	施設の適正な維持管理に努め、計画的に修繕を行い。緊急修繕や工事を減らすように努める。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
継続	継続	施設の管理運営のため、必要な修繕を実施する。

議(要旨)問(状)	
-----------	--

事務事業分析シート（平成29年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-03-04	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	グリーンパール那須管理運営費	部課名	区民生活部区民施設課	課長名	今井	担当者名	中村 内線 2531
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（29年度）	01-01-01	グリーンパール利用者補助	01-01-02	グリーンパール那須営繕費	01-02-01	グリーンパール那須運営費	
事務事業の種類	新規事業（29年度 28年度）		建設事業	それ以外の継続事業			
開始年度	昭和	平成	58年度	根拠			
終期設定	有	無	年度	法令等			
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画	
行政評価事業体系	分野	文化創造都市					
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成				
	施策	02	地域文化とコミュニティの拠点づくり				
目的	区民の健康増進と福祉の向上に寄与すること						
対象者等	区内在住・在勤者とその家族（三親等以内）						
内容	（所在地）栃木県那須郡那須町湯本213 （施設規模）・敷地面積 16,260.77㎡ ・建物面積 3,959.13㎡ ・部屋数 21室 ・定員 105名 （鉄筋コンクリート・地上2階地下1階） ・付属施設 ゲートボール場（1面）、パターゴルフ（3コース） （利用料金）平日：大人A室7,810円、B室6,680円、C室5,550円 （1泊2食付、消費税・サービス料金込み） （利用手続き）利用日の6か月前の月の10日から電話で、11日からインターネットで予約可能 （利用補助）区内在住・在勤者と三親等以内の家族が利用した場合、区が一定額を補助することにより、貸付前と同程度の料金で利用することができる。 利用者は区民料金にて宿泊し、利用月の翌月にグリーンパール那須からの報告書に基づき、日本ビューホテル事業㈱に1か月分の補助額をまとめて支払う。						
経過	昭和58年4月開設。当初は民間のホテル業者に業務委託していたが、経年劣化により修繕等の回数が増加。抜本的なコスト削減などを検討した結果、平成14年度に用途を廃止し普通財産化。今までどおりに運営することを条件に民間事業者は無償で貸与した。 貸与先：日本ビューホテル事業㈱ ・提案方式により選定（平成14年4月1日～平成19年3月31日） ・一般公募による選定（平成24年4月1日～平成29年3月31日） ・平成23年3月16日～5月31日 震災による福島県の被災者の受入れのため休館。6月1日から営業再開。 ・平成25年4月1日～ 抽選と窓口の利用申請を廃止。予約はホテルで受け付けることとし、予約方法は電話またはインターネットのみとした。 ・平成26年5月～12月 荒川区役所 ホテル間の直通バスを隔週ごとに週3便運行。 ・平成27年3月31日～ 直通バスの廃止。平成28年4月1日～ 那須塩原駅 ホテル間の路線バス代をホテルが負担。平成29年6月～ 客室・レストラン・大浴場などのリニューアル工事予定						
必要性	利用者の満足度は高く、高齢者を中心に保養施設として一定の役割を果たしているが、区民利用の減少や社会経済状況の変化を踏まえると見直しをするべき時期に来ている。						
実施方法	（3委託） （直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員） 民間事業者は無償貸付。区負担経費…区民割引の負担額、温泉使用权の更新料、大規模修繕費等、利用受付のための需用費、リニューアルのための工事費、ホテル現地予約受付に伴う一部負担。						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算額		50,980	51,451	54,150	34,972	32,654	82,169	141,507
決算額（29年度は見込み）		35,948	48,700	50,708	30,299	27,692	80,558	141,507
実績の推移	事項名（29年度は見込み）	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	部屋稼働率（%）	81.1	86.2	81.9	81.1	80.0	81.0	80.4
	利用総人数（人）	13,697	17,763	16,965	16,904	16,137	16,417	16,428
	区民優先室利用率（%）	47.2	52.6	47.2	45.8	47.3	46.6	46.8
	区民利用人数（人）	5,806	8,068	6,903	6,620	6,646	6,523	6,638

予算・決算の内訳								
平成27年度（決算）			平成28年度（決算）			平成29年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報償費	経営診断謝礼	50	報償費	経営診断謝礼外	92	報償費	経営診断謝礼	50
旅費	監査随行旅費	44	旅費	運営状況確認旅費外	201	旅費	運営状況確認旅費外	908
需用費	施設設備修繕外	1,983	需用費	経営診断賄外	36	需用費	経営診断賄外	92
委託料	脱衣所空調、冷凍庫買替	2,805	委託料	自動ドア修繕等	4,596	委託料	修繕費	5,773
負担金補助等	区民利用補助外	22,810	負担金補助等	区民利用補助	21,775	使用料等	保養所主管課長会会場使用料	29
			負担金補助等	営繕費・事務経費	53,858	負担金補助等	区民利用補助	24,532
						負担金補助等	営繕費・事務経費・交付金	110,123

	勘定科目			差額	勘定科目			差額
	27年度	28年度			27年度	28年度		
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費		9,880	行政収入	地方税		0
		物件費		3,810		国庫支出金		0
		維持補修費		1,024		都支出金		0
		扶助費		0		分担金及び負担金		0
		補助費等		33,078		使用料及び手数料		99
		減価償却費		33,648		その他		0
		不納欠損・貸倒引当金繰入額		0		行政収入合計(a)		99
		賞与・退職給与引当金繰入額		797		行政収支差額(a)-(b)=(c)		82,138
		その他行政費用		0		金融収支差額(d)		0
		行政費用合計(b)		82,237		通常収支差額(c)+(d)=(e)		82,138
特別費用(g)		0	特別収入(f)		0			
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	当期収支差額(e)+(h)		82,138			
備考								

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		26年度	27年度	28年度	29年度見込み	目標値(38年度)	
標	部屋稼働率(%)	81.1	80.0	81.0	80.4	90.0	

問題点・課題	・同じお客様が1年間に何度も保養所を利用しているというデータがあり、一部の方だけでなく全てのお客様に平等に利用していただけるように、広報を充実させ、新規客の獲得に向けた積極的なPRと、ビューホテルへの指導・助言を行う必要がある。
他区の実況	(実施 11 区 未実施 11 区 不明 0 区) 貸付方式の施設を所有している区：千代田・文京・品川・豊島

問題点・課題の改善策			
	平成28年度に取り組む具体的な改善内容	平成28年度に実施した改善内容および評価	平成29年度以降に取り組む具体的な改善内容
	区報・区営掲示板・HP等の媒体のみならず、TwitterやFacebookといった新たな媒体を活用した宣伝を検討していく。	ホテルで実施されている各種フェアやツアーについて、各種広報媒体を用いて周知し、利用人数の増加を図った。	引き続き、利用人数の向上、新規客の獲得に向けて、様々な媒体を活用した宣伝の検討を行う。
	継続の場合に必要な事柄や廃止時に必要なプロセスを検討し、平成29年度から新たな契約に必要な情報を盛り込む。	施設を適切に運用していくため、平成29年6月にリニューアル工事を行うこととした。	次回の契約期間である平成33年度を目途に施設のあり方や大規模改修について検討していく。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
継続	継続	今後、法定耐用年数に達すること等や平成33年度で温泉権が切れることを踏まえ、様々な可能性を考慮しながら他自治体の情報収集や議論を進める必要がある。

況議(要質問状)	
----------	--

	勘定科目			勘定科目	勘定科目		
	27年度	28年度	差額		27年度	28年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費		2,515	行政収入	地方税		0
	物件費		10,192		国庫支出金		0
	維持補修費		0		都支出金		0
	扶助費		0		分担金及び負担金		0
	補助費等		0		使用料及び手数料		0
	減価償却費		0		その他		0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額		0		行政収入合計(a)		0
	賞与・退職給与引当金繰入額		203		行政収支差額(a)-(b)=(c)		12,910
	その他行政費用		0		金融収支差額(d)		0
	行政費用合計(b)		12,910		通常収支差額(c)+(d)=(e)		12,910
特別費用(g)		0	特別収入(f)		0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	当期収支差額(e)+(h)		12,910		
備考							

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		26年度	27年度	28年度	29年度見込み	目標値(38年度)	
標	利用者満足度(%)	82.6	82.8	100.0	100.0	100.0	施設アンケートに「大変満足」「満足」と回答した方の割合
							(25年度より実施)

問題点・課題	・利用者の希望が集中する時期の部屋数については、今後も契約室数の増加も含めて検討が必要である。また、宿泊プランに関する区民の要望があれば応えていかなければならない。
他区の実況	(実施 14 区 未実施 8 区 不明 0 区)

問題点・課題の改善策		
平成28年度に取り組む具体的な改善内容	平成28年度に実施した改善内容および評価	平成29年度以降に取り組む具体的な改善内容
行政負担の軽減と区民のニーズのバランスを満たす保養所制度の方法について、他自治体の情報収集を主に検討を進める。	特別区主管課長会等を通じて、情報収集・研究を行った。	今後の事業形態の改善に向けた検討資料を揃えるため、他自治体の情報収集や利用者アンケートの実施を行う。
利用が少ない時期における宿泊者増加のための広報を進め、利用が集中する時期の室数増加についても引き続き協議を行う。	閑散期においても多くの区民に利用してもらえよう、区報やHP、チラシ等を活用して周知し、利用促進に努めた。	高い稼働率を維持しつつ、対象客数の多くを区民に供することができるよう、適正な室数について今後も検討を進める。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
継続	継続	今後社会経済状況の変化を踏まえ、区民ニーズを勘案した検討を進める必要がある。

議(要旨)況	
--------	--

事務事業分析シート（平成29年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-03-06	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	管理運営費（ふれあい館）		部課名	区民生活部区民施設課	課長名	今井	
			担当者名	中村	内線	2531	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（29年度）	01-01-01	管理運営費（ふれあい館）					
	01-04-01	営繕費（ふれあい館・計画工事）					
	01-98-98	ふれあい館整備事業費					
事務事業の種類	新規事業（29年度	28年度）	建設事業	それ以外の継続事業			
開始年度	昭和	平成	16年度	根拠	荒川区ふれあい館条例・同施行規則		
終期設定	有	無	年度	法令等	荒川区ふれあい館管理運営要綱		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画	
行政評価事業体系	分野	文化創造都市					
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成				
	施策	02	地域文化とコミュニティの拠点づくり				
目的	児童育成事業や高齢者レクリエーション事業など様々な事業を一体的に展開し、乳幼児から高齢者までのあらゆる世代が交流し、区民の自主的な活動や地域のコミュニティの拠点となる「ふれあい館」を整備する。なお、ふれあい館の運営については、指定管理者制度を導入する。						
対象者等	乳幼児から高齢者まで						
内容	<対象施設> 13館 石浜ふれあい館、南千住ふれあい館、南千住駅前ふれあい館、汐入ふれあい館、峡田ふれあい館、荒川山吹ふれあい館、町屋ふれあい館、荒木田ふれあい館、尾久ふれあい館、西尾久ふれあい館、東日暮里ふれあい館、夕やけこやけふれあい館、西日暮里ふれあい館 <事業内容> (1)施設の維持管理(光熱水費の支払、清掃・消防設備等の各種保守委託の契約締結及び支払) (2)児童育成事業の実施 (3)高齢者レクリエーション事業の実施 (4)中高生・成人向け、世代間交流事業等ふれあい館事業の実施						
経過	平成13年12月 新たな区民ひろばの構築にむけて<中間報告書>（区民利用施設等のあり方検討委員会） 平成14年 1月 区報に「ひろば館適正配置の検討（中間のまとめ）」掲載 平成14年 3月 新たな「区民ひろば」の構築にむけて<最終報告書>（区民利用施設等のあり方検討委員会） 平成14年 5月 区報に「ひろば館適正配置の検討（最終報告書）」掲載 平成14年 9月 新たな区民ひろば館の事業運営及び施設設備のあり方について（地域振興部） 平成14年10月 総務区民委員会報告（新たな区民ひろばの事業運営及び施設設備のあり方について） 平成15年11月 指定管理者制度による管理運営導入決定 平成28年 4月 公募により選定した指定管理者の指定期間を5年とする(27年度公募実施施設から適用) 平成29年 4月 指定管理制度における人件費、本部経費等の見直し						
必要性	ひろば館では児童育成事業又は高齢者事業を個々に実施しているが、それらの事業を一体的に展開し、あらゆる世代が交流できる「ふれあい館」は地域コミュニティ施設として必要である。また、施設の維持管理のための補修等は必要である。						
実施方法	（2一部委託）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 区内13ふれあい館を指定管理者に管理委託（平成29年度 指定管理料(年度協定額) 638,504,112円） 家屋等修繕費はふれあい館指定管理者に委託（残金は区に返還する）。						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算額		382,372	539,580	636,538	637,630	634,658	643,459	823,175
決算額（29年度は見込み）		374,595	519,718	605,354	634,520	631,191	640,270	823,175
実績の推移	事項名（29年度は見込み）	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	ふれあい館数	8	11	13	13	13	13	13
	ふれあい館開設数	1	3	2	0館	0館	0館	0館
	ふれあい館指定管理料(千円)	348517	486664	580409	601614	605357	612574	643146
計画工事費(千円)		0	9915	492	1378	0	0	150555

予算・決算の内訳								
平成27年度（決算）			平成28年度（決算）			平成29年度（予算）		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費・旅費	審査委員謝礼等	575	報償費	審査委員謝礼	653	報償費・旅費	審査委員謝礼等	1,215
需用費	汐入ふれあい館公共料金等	7,802	需用費	汐入ふれあい館公共料金等	7,047	需用費	汐入ふれあい館公共料金等	7,726
役務費	樹木選定等	221	役務費・委託料	指定管理者委託料等	617,002	役務費・委託料	指定管理者委託料等	645,358
委託料	指定管理者委託料等	606,961	使用料等	南千住駅前ふれあい館駐輪場等使用料	3,345	使用料等	南千住駅前ふれあい館駐輪場等使用料	3,529
使用料等	南千住駅前ふれあい館駐輪場等使用料	3,215	負担金補助等	南千住駅前ふれあい館管理費	12,224	工事請負費	空調・特定天井工事	150,555
備品購入費	スクリーン等	2,199				備品購入費	防犯カメラ機器等	3,892
負担金補助等	南千住駅前ふれあい館管理費	10,219				負担金補助等	南千住駅前ふれあい館管理費	10,900

	勘定科目			勘定科目	勘定科目		
	27年度	28年度	差額		27年度	28年度	差額
行政コスト計算書	行政費用			行政収入			
	給与関係費		26,311	地方税		0	
	物件費		628,944	国庫支出金		0	
	維持補修費		0	都支出金		729	
	扶助費		0	分担金及び負担金		0	
	補助費等		11,326	使用料及び手数料		17,740	
	減価償却費		174,192	その他		439	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	行政収入合計(a)		18,908	
	賞与・退職給与引当金繰入額		2,530	行政収支差額(a)-(b)=(c)		824,395	
	その他行政費用		0	金融収支差額(d)		33,120	
行政費用合計(b)		843,303	通常収支差額(c)+(d)=(e)		857,515		
特別費用(g)		4	特別収入(f)		0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		4	当期収支差額(e)+(h)		857,519		
備考							

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		26年度	27年度	28年度	29年度見込み	目標値(38年度)	
標	全ふれあい館利用人数	787,277	812,301	1,075,043	1,092,244	1,102,113	児童育成事業・高齢者レクリエーション事業利用者
	施設の稼働率(%)	66.6	67.5	61.5	62.0	64.9	事業利用・貸室による部屋の稼働率(全館平均)
	1㎡あたりの修繕費・工事費(円)	637	545	946	644	662	営繕費(指定管理料含む)/延床面積

問題点・課題	平成13年度竣工の汐入ふれあい館など、築10年以上を経過するふれあい館が増えてきており、施設の適切な維持管理を図るため、計画的な修繕を計画する必要がある。
他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区) 他区においては、高齢者館や児童館などと利用対象を区切っている場合もあるが、同目的の事業は全区で行っている。

問題点・課題の改善策			
	平成28年度に取り組む具体的な改善内容	平成28年度に実施した改善内容および評価	平成29年度以降に取り組む具体的な改善内容
	館長会議に関係各課の出席を求め、区民サービスにつながる情報提供や衛生管理や安全管理の徹底に努める。	各館のサービス内容の維持・向上など適切な運営を統一的に図るため、指定管理者に管理指導を行った。	区民の要望に沿った事業を実施できるように、指定管理者に対し管理指導を行い、適正な運営に努める。
	ひろば館とふれあい館の位置づけについて、継続的に検討し、ニュープランの遂行を図る。	ふれあい館の整備用地確保に向けて、町会等を通じて用地情報等の提供を呼びかけた。	集客施設として、ゆいの森や日暮里活性化施設等との各々の位置づけを整理して今後の整備を検討する。
	営繕経費の縮減に努めながらも、住民サービスを低下させないよう施設を適正に維持管理する。	利用者の安全安心を確保し、利用者の要望に沿った運営ができるように適切な設備の維持管理を行った。	定期的に点検等を実施して施設の維持管理を適正に行い、区民サービスの向上を図る。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
重点的に推進	重点的に推進	乳幼児から高齢者までの各世代が活動する地域コミュニティ活動の拠点として、適切に管理を行い、さらなる効率的運営を図る。

状況(要質問)	19年一定 21年三定 24年三定 27年度決特	青少年の居場所づくりについて 自由に利用できる休憩場所や情報提供の場を備えた「まちの駅」機能の取り入れについて 地域コミュニティの更なる支援について ふれあい館音楽室の防音設備の状況について
---------	-----------------------------------	--

事務事業分析シート（平成29年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-03-09	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	区民施設建設費	部課名	区民生活部区民施設課	課長名	今井	担当者名	中村 内線 2531
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（29年度）	01-01-01	（仮称）東尾久三丁目付近ふれあい館整備					
	01-01-02	（仮称）日暮里ふれあい館整備					
	01-02-01	日暮里地域活性化施設整備					
事務事業の種類	新規事業（29年度 28年度）		建設事業		それ以外の継続事業		
開始年度	昭和	平成	16年度	根拠			
終期設定	有	無	年度	法令等			
実施基準	法令基準内		都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	文化創造都市					
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成				
	施策	02	地域文化とコミュニティの拠点づくり				
目的	地域コミュニティの拠点となる施設を整備することで、乳幼児から高齢者まであらゆる世代の区民の相互交流と地域活動を促進し、地域の活性化を図ることで、心豊かで活力に満ちた地域社会を形成する。						
対象者等	区民及び来街者						
内容	<p><ふれあい館整備> （仮称）東尾久三丁目付近ふれあい館・（仮称）日暮里ふれあい館 平成28年度 用地取得（東尾久三丁目） 平成29年度 測量、地盤調査、基本設計 平成30年度 基本設計、実施設計 平成31年度 実施設計、建設工事 平成32年度 建設工事 平成33年度 開設予定</p> <p><日暮里活性化施設整備> 区民事務所機能とともに、地域の活性化に資する機能を持つ施設 平成27年度 測量、地盤調査、用地取得 平成28年度 基本設計、実施設計 平成29年度 実施設計、建設工事 平成30年度 建設工事 平成31年度 開設予定</p>						
経過	<p><ふれあい館 開設年月></p> 平成16年10月 荒木田ふれあい館、西尾久ふれあい館 平成17年 4月 汐入ふれあい館、東日暮里ふれあい館 汐入ふれあい館は平成13年度竣工（17年度名称変更） 平成18年 2月 荒川山吹ふれあい館 平成20年 4月 西日暮里ふれあい館 平成22年 4月 南千住駅前ふれあい館 平成23年 4月 峡田ふれあい館 平成24年 4月 南千住ふれあい館、町屋ふれあい館、尾久ふれあい館 平成25年 4月 石浜ふれあい館、夕やけこやけふれあい館						
必要性	ひろば館では児童育成事業又は高齢者事業を個々に実施しているが、それらの事業を一体的に展開し、あらゆる世代が交流でき、区民の自発的な活動や地域コミュニティの拠点となる「ふれあい館」の整備が急務である。また、施設と地域の魅力とが相乗して地域を活性化できる施設が必要である。						
実施方法	（2一部委託）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 委託内容：測量、地盤調査、設計業務、工事監理業務						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算額						210,523	319,530	404,569
決算額（29年度は見込み）						207,839	318,796	404,569
実績の推移	事項名（29年度は見込み）	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	用地取得費（千円）					203,355	296,628	
	工事請負費（千円）						1,430	370,200

予算・決算の内訳								
平成27年度（決算）			平成28年度（決算）			平成29年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
財産購入費	用地取得費	203,355	報償費	設計委託公券委員会委員謝礼等	135	報償費	設計委託公券委員会委員謝礼等	660
委託料	測量・地盤調査料	4,484	需用費	設計委託公券委員会委員謝礼	3	需用費	設計委託公券委員会委員謝礼	46
			委託料	施設整備基本設計及び実施設計	20,600	役務費	用地樹木剪定	441
			工事請負費	ふれあい館用地整備	1,430	委託料	測量、設計委託等	33,188
			公有財産購入費	ふれあい館用地取得	296,628	工事請負費	建設工事	370,200
						使用料	設計委託公券委員会委員会場料	34

	勘定科目			勘定科目	勘定科目		
	27年度	28年度	差額		27年度	28年度	差額
行政コスト計算書	行政費用			行政収入			
	給与関係費		1,128	地方税		0	
	物件費		3	国庫支出金		69	
	維持補修費		0	都支出金		0	
	扶助費		0	分担金及び負担金		0	
	補助費等		135	使用料及び手数料		0	
	減価償却費		0	その他		0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	行政収入合計(a)		69	
	賞与・退職給与引当金繰入額		108	行政収支差額(a)-(b)=(c)		2,736	
	その他行政費用		1,430	金融収支差額(d)		0	
行政費用合計(b)		2,805	通常収支差額(c)+(d)=(e)		2,736		
特別費用(g)		0	特別収入(f)		0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	当期収支差額(e)+(h)		2,736		
備考							

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		26年度	27年度	28年度	29年度見込み	目標値(38年度)	
標							

問題点・課題	ふれあい館ニュープランに沿って引き続き整備を推進するが、適切な建設用地の確保が困難な状況にある。未整備館について、再開発や複合施設などの整備手法を視野にいれて整備に向けた検討を進める必要がある。整備の目途がたたないふれあい館について、取り得る整備手法を検討して今後の進め方を再考する必要がある。
他区の実況	(実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区)

問題点・課題の改善策			
	平成28年度に取り組む具体的な改善内容	平成28年度に実施した改善内容および評価	平成29年度以降に取り組む具体的な改善内容
	ふれあい館整備ニュープランに基づき、整備用地の確保に向けて引き続き努力する。	ふれあい館用地の確保に向けて、町会等を通じて用地情報等の提供を依頼した。	ふれあい館整備ニュープランに基づき、地域特性を踏まえた利用状況の分析を進め、整備を進める。
	区民や来訪者にとって、より利用しやすい施設を整備することで、地域コミュニティの更なる活性化を図る。	利用しやすい施設を整備するため、地域住民等の意見等を把握し、今後の整備に反映するよう努めた。	区の現状や様々な区民ニーズに合った施設を建設するため、施設利用者となる地域住民等の意見や要望を踏まえて検討する。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
重点的に推進	重点的に推進	地域コミュニティの拠点となる中心的な施設のため優先度は高い。新たなふれあい館の整備に向けて、積極的に用地取得等を行っていく。

議(要質問)況	19年一定 26年度11月会議 26年度2月会議 27年度決特	ふれあい館建設計画の遅延 ふれあい館20館整備の進捗、日暮里・東尾久地域のふれあい館整備等 今後の公共施設整備のあり方について (仮称)東尾久三丁目ひろば館整備の進捗状況について
---------	--	--

事務事業分析シート（平成29年度）

No1

主要事業	事務事業コード	05-04-01	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	ゆいの森あらかわ事務管理費		部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課	課長名	菊池	
			担当者名	榊	内線	3750	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（29年度）	01-02-01	事務管理費					
事務事業の種類	新規事業（29年度 28年度）		建設事業		それ以外の継続事業		
開始年度	昭和	平成	28年度	根拠	荒川区立ゆいの森あらかわ条例		
終期設定	有	無	年度	法令等			
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画	
行政評価事業体系	分野	文化創造都市					
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成				
	施策	02	地域文化とコミュニティの拠点づくり				
目的	ゆいの森あらかわの適切な維持管理により施設の長寿命化を図るとともに、魅力的かつ安心・安全なサービスの充実を図る。						
対象者等	ゆいの森あらかわ利用者						
内容	【開設】平成29年3月26日 【所在地】荒川区荒川2-50-1 【土地面積】4,111㎡ 【床面積】10,944㎡ 【構造】鉄筋コンクリート造 地上5階地下1階 【開館時間】午前9時30分～午後8時30分 【主な事業】中央図書館、吉村昭記念文学館、子どもひろば等						
経過	平成21年10月 複合用地取得（経理課において取得） 11月 複合施設の設置及び運営に関する懇談会の設置 平成23年 7月 （仮称）あらかわ二丁目複合施設基本計画策定 平成24年 3月 荒川地区都市再生整備計画策定 10月 （仮称）荒川二丁目複合施設基本設計及び展示基本設計完了 平成26年 3月 （仮称）荒川二丁目複合施設実施設計完了 10月 複合施設の建設工事着工 平成27年 2月 愛称名を「ゆいの森あらかわ」に決定、プロポーザルによりカフェ運営事業者決定 平成28年 1月 ロゴマークの決定 3月 管理運営方針の策定 6月会議 設置条例制定 平成29年 1月 竣工 3月26日 開館						
必要性	ゆいの森あらかわの運営により、荒川地区はもとより、区内全体の知とコミュニティの醸成を図るため、世代や地域、目的が違う人々が集い、交流と経験の共有を通して、知の集積や発信、新たな知的文化活動の誘発や企画が生まれる施設の必要性は高い。						
実施方法	（2一部委託）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 清掃・警備業務を委託						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算額							198,882
決算額（29年度は見込み）							198,882
実績の推移	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
事項名（29年度は見込み）							
修繕件数	0	0	0	0	0	0	1

予算・決算の内訳								
平成27年度（決算）			平成28年度（決算）			平成29年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
						報償費	アドバイザー謝礼	624
						旅費	近接地外旅費等	435
						需用費	光熱水費、消耗品費、印刷製本費等	45,833
						役務費	電話料、人材派遣経費等	46,420
						委託料	施設管理に係る業務委託等	104,582
						使用料及び賃借料	トイレ衛生装置賃借料等	888
						備品購入費	備品購入費	100

	勘定科目			勘定科目	勘定科目		
	27年度	28年度	差額		27年度	28年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費		0	行政収入	地方税		0
	物件費		0		国庫支出金		0
	維持補修費		0		都支出金		0
	扶助費		0		分担金及び負担金		0
	補助費等		0		使用料及び手数料		0
	減価償却費		0		その他		0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額		0		行政収入合計(a)		0
	賞与・退職給与引当金繰入額		0		行政収支差額(a)-(b)=(c)		0
	その他行政費用		0		金融収支差額(d)		0
	行政費用合計(b)		0		通常収支差額(c)+(d)=(e)		0
特別費用(g)		0	特別収入(f)		0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	当期収支差額(e)+(h)		0		
備考							

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		26年度	27年度	28年度	29年度見込み	目標値(38年度)	
標	入館者数			1,212,764	1,600,000	1,800,000	ゆいの森あらかわ及び各図書館の入館者数の総計
	区民一人当たりの図書館運営経費(円)(H29.4.1現在)				1,270	1,000	(ゆいの森事務管理費+地域図書館管理費の当初予算)÷住基人口

問題点・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が安心・安全な施設の運営を行う。 ・快適な環境づくりを図るとともに、光熱水費の節約や設備の適正な維持管理に努める。 ・来館者がわかりやすく、利用しやすい状況を分析し、改善点を検討する。
他区の実況	(実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区) 図書館、文学館、子どものための施設が融合した、これまでにない新しいコンセプトの施設である。

問題点・課題の改善策			
	平成28年度に取り組む具体的な改善内容	平成28年度に実施した改善内容および評価	平成29年度以降に取り組む具体的な改善内容
			利用者が安心・安全で、より快適な施設運営を検討し、実施する。
			来館者がわかりやすいサインを検討し、設置する。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
推進	推進	施設全体のPRを行い、国内外の来館者が利用しやすい環境を整備する。

議(要)質(問)状	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度 6月会議 区のシンボリック施設としての全庁を挙げた事業展開について ・平成28年度 6月会議 成果と今後の方向性について ・平成28年度 決特 ゆいの森あらかわの周知について ・平成28年度 決特 サイン、デコレーション等について
-----------	--

事務事業分析シート（平成29年度）

No1

主要事業	事務事業コード	05-04-02	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	ゆいの森あらかわ事業運営費		部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課	課長名	菊池	
			担当者名	榊	内線	2256	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（29年度）	01-03-01	ゆいの森あらかわ事業運営費					
事務事業の種類	新規事業（29年度 28年度）		建設事業		それ以外の継続事業		
開始年度	昭和	平成	28年度	根拠	荒川区立ゆいの森あらかわ条例		
終期設定	有	無	年度	法令等			
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画	
行政評価事業体系	分野	文化創造都市					
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成				
	施策	02	地域文化とコミュニティの拠点づくり				
目的	生涯学習や地域コミュニティの拠点となるよう、「ゆいの森あらかわ」の3つの機能が有機的に融合した事業のほか、関連する機関と連携した事業及びボランティア活動の支援を展開する。						
対象者等	区民及び施設利用者						
内容	<p>【施設機能等連携イベント】 図書館、文学館、子ども施設の各機能が連携した講演会やイベント等を開催。</p> <p>【地域活動支援】 地域コミュニティの拠点となるよう、地域の方がボランティア等で施設運営に参加できるよう、いきいきボランティアポイント制度などを取り入れながら、活動内容を広げていく。</p> <p>【他機関協働事業】 他部署や他機関と連携し、区民の方が施設に足を運びきっかけとなる幅広い事業展開を行う。</p>						
経過	<p>平成21年11月 複合施設の設置及び運営に関する懇談会の設置</p> <p>平成23年 7月（仮称）荒川二丁目複合施設基本計画策定</p> <p>平成24年 3月 荒川地区都市再生整備計画策定</p> <p>平成28年 3月 管理運営方針の策定 6月会議 設置条例制定 12月理科読ボランティア開始</p> <p>平成29年 3月26日 開館 4月いきいきボランティアポイント制度登録</p>						
必要性	地域活動への参加や多様な体験や学習のきっかけとして事業を展開する必要がある。						
実施方法	(1直営) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員)						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
予算額							10,036	
決算額（29年度は見込み）							10,036	
実績の推移	事項名（29年度は見込み）	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	イベント数（回）						2	20
	ボランティア活動者数（延べ人数）						20	100

予算・決算の内訳								
平成27年度（決算）			平成28年度（決算）			平成29年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
						報償費	イベント講師謝礼	1,273
						需用費	食糧費、消耗品費	545
						役務費	通信運搬費、人材派遣経費	4,654
						委託料	グッズ、企画展示制作	3,564

	勘定科目			勘定科目	勘定科目		
	27年度	28年度	差額		27年度	28年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費		0	行政収入	地方税		0
	物件費		0		国庫支出金		0
	維持補修費		0		都支出金		0
	扶助費		0		分担金及び負担金		0
	補助費等		0		使用料及び手数料		0
	減価償却費		0		その他		0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額		0		行政収入合計(a)		0
	賞与・退職給与引当金繰入額		0		行政収支差額(a)-(b)=(c)		0
	その他行政費用		0		金融収支差額(d)		0
	行政費用合計(b)		0		通常収支差額(c)+(d)=(e)		0
特別費用(g)		0	特別収入(f)		0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	当期収支差額(e)+(h)		0		
備考							

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		26年度	27年度	28年度	29年度見込み	目標値(38年度)	
標	事業開催数(回)				12	15	ゆいの森で実施した事業数
	ボランティア活動者数				100	100	

問題点・課題	<ul style="list-style-type: none"> 多様な事業展開を行い、魅力ある施設運営を行う必要がある。 いきいきボランティアポイント制度の利用者が参加しやすい枠組みを検討する必要がある。
他区の実況	(実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区)

問題点・課題の改善策		
平成28年度に取り組む具体的な改善内容	平成28年度に実施した改善内容および評価	平成29年度以降に取り組む具体的な改善内容
		他部署と連携し、多くの区民が参加できる様々な分野のイベントを実施することで、魅力ある施設運営につなげる。
主に施設で活動いただけるボランティアの育成に取り組む。	理科読ボランティアを募集、育成し、次年度の活動につなげた。	いきいきボランティアポイント制度も活用しながら、幅広くボランティアを募集し、活動しやすい環境を提供する。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
重点的に推進	重点的に推進	地域コミュニティ及び文化推進の新たな拠点として、運営を軌道に乗せる必要がある。

議(要質問状)	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度 2月会議 ボランティアについて 平成28年度 2月会議 オープニングイベント等について 平成28年度 9月会議 ボランティアの活用について
---------	--

	勘定科目			勘定科目	勘定科目		
	27年度	28年度	差額		27年度	28年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費		0	地方税		0	
	物件費		0	国庫支出金		0	
	維持補修費		0	都支出金		0	
	扶助費		0	分担金及び負担金		0	
	補助費等		0	使用料及び手数料		0	
	減価償却費		0	その他		0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	行政収入合計(a)		0	
	賞与・退職給与引当金繰入額		0	行政収支差額(a)-(b)=(c)		0	
	その他行政費用		0	金融収支差額(d)		0	
	行政費用合計(b)		0	通常収支差額(c)+(d)=(e)		0	
特別費用(g)		0	特別収入(f)		0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	当期収支差額(e)+(h)		0		
備考							

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		26年度	27年度	28年度	29年度見込み	目標値(38年度)	
標	遊びラウンジ利用者数(子どものみ)				36,015	40,000	一日平均105名×343日
	体験キット貸出件数				6,860	8,575	一日平均20件×343日
	ワークショップ等参加者数				1500	2000	ワークショップ、校外学習等の参加者数

問題点・課題	開館直後であることから、施設のワークショップ等のイベントや一時預り等の事業の周知が十分ではないことから、周知に努める必要がある。 おもちゃや体験キットの充実に取り組み、魅力ある子どもひろばを運営していく必要がある。
他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区) 遊びラウンジは、国の事業である「地域子育て支援拠点事業」に基づき実施している。

問題点・課題の改善策			
	平成28年度に取り組む具体的な改善内容	平成28年度に実施した改善内容および評価	平成29年度以降に取り組む具体的な改善内容
	・	一時預り事業者を決定し、運営方法について協議・決定し、運営を開始する。	安全に一時預りを実施しながら、区内への周知に努める。
		おもちゃや体験キットの購入等を実施。	今後必要なおもちゃ・体験キットを検討し、充実を図る。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
重点的に推進	重点的に推進	星空学習については、つくば市のプラネタリウム見学から変更となる。これらを含めて新たな事業体系を構築する必要があるため。

議(要旨)問(状)	
-----------	--

事務事業分析シート（平成29年度）

No1

主要事業	事務事業コード	05-04-05	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	吉村昭記念文学館推進事業運営費	部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課	担当者名	田邊	課長名	須田
						内線	2256
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（29年度）	01-06-01	吉村昭記念文学館運営費					
事務事業の種類	新規事業（29年度 28年度）		建設事業		それ以外の継続事業		
開始年度	昭和	平成	18年度	根拠	荒川区立ゆいの森あらかわ条例		
終期設定	有	無	年度	法令等			
実施基準	法令基準内		都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	文化創造都市					
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成				
	施策	02	地域文化とコミュニティの拠点づくり				
目的	郷土を代表する作家・吉村昭氏及び吉村氏に関連のある作家に関する資料の収集、研究等を行うとともに、同氏の作品等を基盤とした幅広い文化活動を展開することにより、区民の心を育み、区の文化振興に寄与する。						
対象者等	区民等						
内容	吉村昭氏に関する資料の収集、整理、保管及びその研究 企画展示の計画、展示物の製作などの展示活動 講演会や吉村氏・津村氏とゆかりのある地との連携等を通じた、吉村昭氏と同氏の作品の普及啓発 文学館が地域文化の醸成に貢献できるよう友の会の運営 ○ホームページ等での広報 常設展示室：200㎡（ゆいの森あらかわ2階・3階の一部、復元書斎を含む） 入館料：無料						
経過	平成4年5月 吉村昭氏区民栄誉賞受賞 区役所1階で作品展開催 日暮里図書館吉村昭コーナー設置 平成16年4月 区内の各図書館に吉村昭著作コーナーを設置 平成18年7月31日 吉村昭氏逝去 11月 文学館のあり方に関する懇談会設置（～19年3月） 平成19年1月 講演会 6月 文学館基本構想委員会設置（～20年3月）7月 講演会、企画展 平成20年7月（仮称）吉村昭記念文学館推進委員会設置 7月 追悼イベント 10月 企画展、講演会 平成21年～26年度 企画展、講演会を年各1回実施 平成24年～26年度 展示基本設計、実施設計 平成27年3月 吉村昭記念文学館友の会設立、吉村昭記念文学館展示等検討委員会設置 6月 展示製作業務委託契約締結 平成29年3月26日 吉村昭記念文学館開館						
必要性	吉村昭氏の業績を後世に伝えとともに、吉村作品を通してさらに広範な文学の世界に触れる機会を広く区民に向けて提供することで、区における文化の醸成や区のPRにも寄与することから、必要性は非常に高い。						
実施方法	（2一部委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 文学館の運営に当たっては、学芸員の資格等を有する専門の非常勤職員を採用して実施するとともに、専門家の御意見も伺いながら進める。展示製作業務、デジタル写真撮影業務等を委託						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算額								24,963
決算額（29年度は見込み）								24,963
実績の推移	事項名（29年度は見込み）	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	記念事業の参加者人数（人）	87	85	78	160	217	900	1200
	文学館友の会会員数（人）				200	350	735	450

予算・決算の内訳								
平成27年度（決算）			平成28年度（決算）			平成29年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
						需用費	消耗品費、印刷製本費	10,454
						委託料	企画展時製作委託等	6,298
						使用料及び賃借料	著作権使用料等	4,250
						役務費	資料等運搬費、筆耕翻訳料等	2,797
						報償費	講演会講師謝礼等	597
						備品購入費	自筆原稿等購入費	519
						費用金補助及び交付金	研修受講料	48

	勘定科目			勘定科目	勘定科目		
	27年度	28年度	差額		27年度	28年度	差額
行政コスト計算書	行政費用			行政収入			
	給与関係費		0	地方税		0	
	物件費		0	国庫支出金		0	
	維持補修費		0	都支出金		0	
	扶助費		0	分担金及び負担金		0	
	補助費等		0	使用料及び手数料		0	
	減価償却費		0	その他		0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	行政収入合計(a)		0	
	賞与・退職給与引当金繰入額		0	行政収支差額(a)-(b)=(c)		0	
	その他行政費用		0	金融収支差額(d)		0	
行政費用合計(b)		0	通常収支差額(c)+(d)=(e)		0		
特別費用(g)		0	特別収入(f)		0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	当期収支差額(e)+(h)		0		
備考							

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		26年度	27年度	28年度	29年度見込み	目標値(38年度)	
標	記念事業の参加人数(人)	160	217	900	1200	1200	イベントや講演会等の参加者人数
	文学館友の会会員数(人)	200	350	735	450	500	吉村昭氏の功績や作品を広く周知するための指標

問題点・課題	<ul style="list-style-type: none"> 企画展の開催や刊行物の作成、友の会の拡大などにより、文学館及び吉村文学を区内外へ広く周知する必要がある。 吉村氏や津村氏とゆかりのある全国各地との連携等の充実を図る。
他区の実況	(実施 8 区 未実施 14 区 不明 0 区) 文学館設置区 新宿区、文京区、台東区、大田区、世田谷区、渋谷区、杉並区、江東区

問題点・課題の改善策		
平成28年度に取り組む具体的な改善内容	平成28年度に実施した改善内容および評価	平成29年度以降に取り組む具体的な改善内容
文学館の開館に向けて、友の会の組織運営の拡充やカリグラフィの製作等に取り組むことで、更なる認知度の向上を目指す。	開館イベントを開催し、その内容を友の会会報へ掲載し好評を得た。絶版となった「東京の下町」を販売できるよう準備した。	企画展やイベント等の開催では、マスメディアに協力を仰ぎ、広報を行う。ゆかりのある全国の地との連携により館を周知する。
		友の会の申込方法を検証し、入会や更新の際の負担軽減を図り、会員数の増加を目指す。
展示内容を確定し、展示物等の製作を遅滞なく進めるとともに、文学館の経常的な事業内容を具体化する。	企画展案をもとに展示内容に関する資料調査・研究を進め、展示物及び関連する刊行物の作成を遅滞なく進める。	

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
重点的に推進	重点的に推進	広く区内外に、作家吉村昭氏とその作品の紹介を継続して行い、文学館の運営による文化の醸成を図る。開館一年目であることから、企画展等によって館を周知するほか、友の会会員を新たに募集し、館の運営を軌道にのせる。

議(要)質(問)状	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年 一定 吉村昭氏の記念文学館又は図書館併設の記念文庫の設置について 平成18年 三定 記念館の設置要望について 平成23年 四定 文学館開館に向けた事前周知について 平成26年度 予特 友の会の設立について 平成27年度 予特 文学館の開館後のイベントについて
-----------	---

事務事業分析シート（平成29年度）

No1

主要事業	事務事業コード	05-04-06	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	複合施設開設準備費・吉村昭記念文学館運営費【決算報告】	部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課	担当者名	榊	課長名	菊池
						内線	2256
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（29年度）	01-01-01	複合施設建設費					
	01-01-02	複合施設課異説準備費					
事務事業の種類	新規事業（29年度 28年度）		建設事業		それ以外の継続事業		
開始年度	昭和	平成	18年度	根拠	（仮称）荒川二丁目複合施設基本計画、荒川区立ゆいの森あらかわ条例		
終期設定	有	無	28年度	法令等			
実施基準	法令基準内		都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	文化創造都市					
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成				
	施策	02	地域文化とコミュニティの拠点づくり				
目的	以下の三つの機能を融合させた複合施設「ゆいの森あらかわ」を、荒川二丁目に整備する。 ・大規模な蔵書をもとに、区民の課題解決等と全ての世代の読書活動を支援する図書館機能 ・荒川区出身の作家吉村昭氏に関する資料の収集・研究・保管を行い、氏の業績を記念する文学館機能 ・子どもに豊かな遊びや幅広い体験・交流の場を提供する子ども施設機能						
対象者等	区民等						
内容	施設全体 ・施設の建設工事、周辺整備との連携 ・三つの機能を融合させ、これまでの各機能の枠を越えた事業を施設全体として運営する仕組づくり ・「ゆいの森あらかわ」開館に向けた機運の醸成 図書館機能 ・大規模図書館にふさわしい資料の選定及び調達 ・効率的かつ効果的な蔵書管理方式の導入とサービス向上に向けた検討 文学館機能 ・吉村昭氏に関する資料の収集及び研究 ・展示計画の策定 子ども施設 ・遊具や体験教材の調達						
経過	平成21年10月 複合用地取得（経理課において取得） 11月 複合施設の設置及び運営に関する懇談会の設置 平成23年 7月 （仮称）荒川二丁目複合施設基本計画策定 平成24年 3月 荒川地区都市再生整備計画策定 10月 （仮称）荒川二丁目複合施設基本設計及び展示基本設計完了 平成26年 3月 （仮称）荒川二丁目複合施設実施設計完了 10月 複合施設の建設工事着工 平成27年 2月 施設の愛称名を「ゆいの森あらかわ」に決定、プロポーザルにより加i運営事業者を決定 8月 図書館機能開設準備業務委託契約締結 平成28年 1月 ロゴマークの決定 3月 管理運営方針の策定 6月会議 設置条例制定 平成29年 1月 竣工、3月26日 開館						
必要性	「ゆいの森あらかわ」の整備により、世代や地域、目的が違う人々が集い、交流と経験の共有を通して、知の集積や発信、新たな知的文化活動の誘発や企画が生まれ、荒川地区はもとより、区内全体の知とコミュニティの醸成を図る。						
実施方法	（1直営）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 施設運営等の検討に当たっては、非常勤職員を採用して実施するとともに、専門家や関係団体、区民等から幅広く御意見を伺いながら進める。						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算額		100,349	226,947	321,106	2,506,894	827,606	4,396,800	
決算額（29年度は見込み）		24,284	223,203	179,656	2,410,597	667,226	4,138,676	
実績の推移	事項名（29年度は見込み）	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	関連事業の参加人数（人）				160	518	900	

予算・決算の内訳								
平成27年度（決算）			平成28年度（決算）			平成29年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
工事請負費	建築工事費	581,300	工事請負費	建設工事費	3,352,045	報酬		138,998
委託料	図書館機能開設準備委託等	75,850	委託料	開設準備業務委託費	531,693	共済費		20,985
報酬	非常勤職員報酬	3,589	備品購入費	初度調弁等	132,870	旅費		480
備品購入費	職員用什器等	3,212	需用費	初度調弁等	59,172	委託料		33
需用費	消耗品費、印刷製本費	1,784	報酬等	非常勤職員手当等	33,146			
役務費	通信運搬料等	523	役務費	搬出入監理図書等運搬業務	23,186			
共済費	社会保険料（非常勤）	437	その他	使用料・賃料・報償費等	6,564			

	勘定科目			勘定科目	勘定科目			
	27年度	28年度	差額		27年度	28年度	差額	
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費		117,146	行政収入	地方税		0
		物件費		450,381		国庫支出金		2,123
		維持補修費		330		都支出金		1,050
		扶助費		0		分担金及び負担金		0
		補助費等		1,824		使用料及び手数料		161
		減価償却費		16		その他		5,960
		不納欠損・貸倒引当金繰入額		0		行政収入合計(a)		9,294
		賞与・退職給与引当金繰入額		8,426		行政収支差額(a)-(b)=(c)		808,223
		その他行政費用		239,394		金融収支差額(d)		12,245
		行政費用合計(b)		817,517		通常収支差額(c)+(d)=(e)		820,468
特別費用(g)		4,643	特別収入(f)		72			
特別収支差額(f)-(g)=(h)		4,571	当期収支差額(e)+(h)		825,039			
備考								

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		26年度	27年度	28年度	29年度見込み	目標値(38年度)	
標	関連事業の参加人数(人)	160	518				「ゆいの森あらかわ」の開館に向けた周知イベントの参加者数
	整備の進捗率(%)	7	28				

問題点・課題	<ul style="list-style-type: none"> 「ゆいの森あらかわ」の認知度の向上 「ゆいの森あらかわ」のサービスを担う人材の育成とボランティアの導入 平成29年3月の開館に向け、他部署・他機関との調整を行いながらのスケジュール管理 開館後の本施設の活用方法や事業計画の具体化
他区の実況	(実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区) 図書館、文学館、子ども施設の三つの機能が融合した施設は他区にはなし。

問題点・課題の改善策			
	平成28年度に取り組む具体的な改善内容	平成28年度に実施した改善内容および評価	平成29年度以降に取り組む具体的な改善内容
	施設の閉館に向けて、図書資料の調達を含めた初度調弁等の作業を遅滞なく行う。	平成29年3月の開館に向けて、より効果的かつ効率的な運営体制の構築や初度調弁の準備を行った。	
	全庁から施設の活用案を提案してもらい事業計画を具体化するとともに、主に施設で活動いただけるボランティアの育成に取り組む。	理科読ボランティアを募集、育成し、次年度の活動につなげた。	

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
休止・完了	休止・完了	平成29年3月の開館に向けて、より効果的かつ効率的な運営体制の構築や事業計画の策定、初度調弁の準備、機運の醸成を、より具体的な形で進めていく必要がある。なお、平成29年3月開館のため、29年度は事業完了とする。

況議(要質問)状	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年 二定 施設の設置に向けた財政的な負担について 平成26年度 2月会議 読み聞かせの推進とボランティアについて 平成27年度 9月会議 運営方針等について 平成27年度 11月会議 図書館機能の準備について 平成28年度 6月会議 区のシンボリック施設としての全庁を挙げた事業展開について
----------	---